

令和 8年度予算見積調書

課室名：建設管理課
 担当名：土木積算担当
 内線：5196 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P102	建設工事関係積算システム改善費			一般会計	土木費	土木管理費	土木総務費	建設工事積算システム等維持管理費	
事業期間	平成18年度～	根拠法令	公共工事の品質確保に促進に関する法律第3条の1 1 公共工事の品質確保に促進に関する法律第7条の1			針路	08 支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	12, 17
						分野施策	0805 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsターゲット	12-7, 17-14
1 事業概要 国の基準改定等に速やかに対応し、適正な積算業務を行えるシステムとする。またOSやミドルウェアの更新、セキュリティ対応に速やかに対応し、安定的な運用を行う。 土木積算システム改善費 令和8年度 104,305千円 (債務負担行為 令和9年度 300,000千円)				5 事業説明 (1) 事業説明 土木積算システム改善費 令和8年度 104,305千円 令和9年度 300,000千円 (2) 事業計画 令和8年度 ア 手入力を排除し、積算業務の効率化やミス削減を図ることで、計画的な発注事務を遂行する。 イ また、本システムは稼働から約20年が経過し、技術面の老朽化、機能面の遅れが進んでいるとともに、当該システムの基盤となっているOSのサポートが令和10年度に期限を迎える。 ウ このため、新しいOSに適合し、セキュリティ面や運用形態などが最適となるシステム開発を行う。 (3) 事業効果 ア 積算入札業務から手入力を排除することで、ミス削減・業務の効率化を図ることができ、積算精度の向上による入札中止の低減及び積算業務に携わる職員の負担軽減が図られる。 イ 施工時期の平準化を踏まえた発注計画に沿った発注となり、受注する建設企業の人材や資機材の効率的な運用が可能となる。 【活動指標(アウトプット)】次期システムの開発 【成果指標(アウトカム)】設計書作成に係る時間削減105,600時間					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.5人=14,250千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比
決定額	104,305							104,305	61,018
前年額	43,287							43,287	

事業内訳書

事業名	建設工事関係積算システム改善費		
単位事業名	建設工事関係積算システム改善費	予算額	104,305千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	104,305	61,018	
合計	104,305	61,018	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	104,305	61,018	土木設計積算システム構築業務委託 104,305千円(令和8年度分)
合計	104,305	61,018	